

令和6年度第3年次編入学入試
看護学専攻 専門科目・外国語（英語）
入学試験問題、出題意図及び正解・解答例

※入試問題の公表は、著作権の関係で一部を空白にし、引用箇所等を記述して掲載しております。

※正解・解答例は一義的な解答（解答例）を示せるもののみを公表しております。
また、記述の問題等一義的な解答（解答例）が示せない場合は、出題意図のみ公表しております。

令和6年度 第3年次編入学入試問題
問題訂正
「専門科目・英語」(看護学専攻)

【問題冊子】

2 ページ II 問題1 9) の1～2行目

(誤) 「・・・「稼動所得」で・・・」

(正) 「・・・「稼働所得」で・・・」

5 ページ III 問題3の選択肢

(誤) 「3) アドボガシー」

(正) 「3) アドボカシー」

令和6年度

信州大学医学部保健学科

第3年次編入学入試 試験問題

専門科目・外国語（看護学専攻）

注 意 事 項

1. この問題冊子は試験の合図があるまで開かないで下さい。
2. この問題冊子のページ数は表紙を除いて6ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合は申し出て下さい。
3. 問題冊子の余白は、必要に応じて下書きに使用して下さい。
4. 解答用紙の枚数は6枚で、問題冊子と別になっています。
解答用紙は問題ごとに別になっていますので注意して下さい。
5. 解答はすべて解答用紙の指定されたところに記入して下さい。
6. 受験番号は解答用紙の指定されたところすべてに必ず記入して下さい。
決して氏名は書かないで下さい。
7. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。
8. 問題冊子は持ち帰って下さい。

令和6年度 第3年次編入学入試問題（問題用紙）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

I

問題1 次の文章を読み、意識障害を伴う危険な所見を記入してください。

- 1) 頭蓋内圧の上昇により、血圧上昇、徐脈を認める現象。
- 2) 大脳皮質や白質の広範囲な障害でみられる硬直で、上肢は屈曲内転、膝と足関節は伸展する。
- 3) 両側の大脳皮質下や間脳の障害、重症心不全、睡眠薬などの薬物中毒により、過呼吸と無呼吸が規則正しく交代してみられる呼吸。

問題2 次の文章を読み、(①) ~ (⑦) に適切な語句を記入してください。

手術侵襲による疼痛は、(①) である。これは、ドレーン、貯留した滲出液や血液等の機械的刺激と、侵襲後に産生される (②) などの炎症性物質による化学的刺激が要因となって生じる。

また、治療に要すると期待される時間の枠を超えて持続する、あるいは進行性の非がん性疼痛に基づく痛みである慢性疼痛は (①)、(③)、心理社会的 (心因性) に分類され、これら3種の疼痛が混在し、密接に関連している場合も多い。

さらに、がんによる炎症や組織の損傷により生じるがん疼痛は、大きく (①)、(③) に分類され、がんそのものによる疼痛である (①) 疼痛は、(④) と (⑤) に分類される。このうち (⑤) はオピオイドが有効なことが多い。これらの疼痛の程度を客観的に評価するために、痛みの強さを0~10の11段階で表現してもらう (⑥)、痛みの強さが10cmの直線上のどこにあたるかを記録する (⑦) などを使用する。

問題3

透析療法には血液透析と腹膜透析がありますが、それぞれの特徴について、手術、施行場所と通院回数、透析手技実施者、食事療法上の制限、入浴に着目して説明してください。

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (問題用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目 (看護学専攻)

II

問題1

わが国の高齢者に関する厚生統計について、正しいものに○、誤っているものに×を記入してください。

- 1) 日本の倍加年数は115年である。
- 2) 令和2年の『完全生命表』によれば、日本の老年人口指数は20.0で、世界で最も高い。
- 3) 令和元年の『国民生活基礎調査』によれば、65歳以上ではおおよそ2人に1人が有訴者であり、もっとも多い症状は腰痛である。
- 4) 令和2年の死亡の場所別にみた年次死亡数で最も多いのは自宅で、約7割を占めている。
- 5) 平成30年の養介護施設従事者等による虐待調査によれば、被虐待高齢者は男性よりも女性が多く、「認知症高齢者の日常生活自立度」ではⅡ以上が約7～8割を占めている。
- 6) 令和元年の『国民生活基礎調査』によれば、65歳以上の者のいる世帯で最も多いのは「夫婦のみ世帯」で、次いで「単独世帯」「親と未婚の子のみの世帯」となっている。
- 7) 令和元年の『国民生活基礎調査』によれば、高齢者世帯の単独世帯では、女性よりも男性が多い。
- 8) 令和4年度の『高齢者白書』によれば、労働力人口に占める65歳以上の高齢者の割合は13.4%で、年々、上昇している。
- 9) 令和元年の『国民生活基礎調査』によれば、高齢者の所得区分の構成比で最も多いのは「稼働所得」で、次いで「公的年金・恩給」となっている。
- 10) 平成29年の『所得再分配調査』によれば、所得格差の指標であるジニ係数では、75歳以上がどの年齢階層よりも高い。

問題2

加齢変化や高齢者に多い疾患に関する下記の文章を読み、()に入る適切な語句を1つ記入してください。

- 1) 病的老化は、生理的老化の過程が著しく加速されて病的状態を生じることで、その具体的な例として(①)などがある。
- 2) キャッテル (Cattell RB) の知能分類では、(②)性知能は、経験により学習される神経学的反応によって形成され、問題解決や情報処理速度の向上に対応する能力で、20歳頃にピークを迎え以降は低下する。

令和6年度 第3年次編入学入試問題（問題用紙）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

- 3) 蛋白質・エネルギー低栄養状態（protein-energy malnutrition: PEM）には、(③)型とクワシオルコル型があり、高齢者ではそれらの混合型が最も多くみられる。
- 4) 摂食嚥下過程の段階のうち、食塊を形成し、さらに口腔を閉鎖して咽頭に食塊を送り込む準備をする過程を(④)期といい、高齢者は唾液分泌量の減少などにより機能が低下する。
- 5) 高齢者に多くみられる便秘として、大腸の動きが減弱する(⑤)性便秘と、直腸内に便が貯留して生じる(⑥)性便秘の他、腸閉塞などによる器質性便秘や薬剤性便秘がある。
- 6) 加齢に伴う睡眠の質的变化として、深い睡眠である(⑦)睡眠の3・4段階が短くなるため、睡眠が浅くなり、熟睡感が得られにくくなる。
- 7) 高齢者に多い骨折部位として(⑧)があり、尻餅をついたり、腰部の負担がかかったりした時に生じやすく、腰背部痛が特徴である。
- 8) 基礎疾患や免疫機能が低下した高齢者に発生しやすい疥癬の種類を(⑨)型疥癬といい、寄生数は100万～200万匹、落屑が著明な角質増殖が特徴で、罹患者の隔離が必要となる。

問題3

代表的な認知症である「中枢神経変性疾患」を3つあげ、それぞれについて、①疾患名、②その原因（病態）、③特徴的な症状を記入してください。

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (問題用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目 (看護学専攻)

Ⅲ

問題1

以下の文章の空欄①～⑩に当てはまる語句を下記の口の中から選び、解答用紙に記述してください。

- 1) 在宅看護は療養者を含めた (①) で (②) する人々とその (③) を理解し、①におけるさまざまな場で、①での (④) と②を支えるための看護を提供する専門分野である。
- 2) ②のとらえ方は、人として (⑤) こと・営むとしての「②行動」と (⑥) の中での営み・活動としての「⑥活動」で構成される。
- 3) 人々の②の場である①には、(⑦) や歴史、文化、習慣、制度や人々のネットワークなどの「①特性」があり、そこで暮らす人々の④や②に影響をもたらす。したがって、①を「みる」「知る」ことが在宅看護活動の前提となる。
- 4) 在宅看護では、(⑧) と連携して、適切な保健・医療・福祉を提供し、(⑨) や療養、QOLの維持・向上の実現を視野に入れた個別・家族に向けた看護から、生活圏を基盤とした④で安全・安心な①づくりを目指した (⑩) の構築に貢献する、①全体を視野に入れた看護活動である。

未来	ニーズ	誕生	生活	価値観
地域	健康	家族	社会	生きる
療養	尊重	予防	アセスメント	
環境	介護保険制度	他職種	地域包括ケアシステム	

問題2

在宅におけるアセスメントについて、以下の文章の空欄①～⑩に当てはまる語句を解答用紙に記述してください。

- 1) 看護におけるアセスメントは、(①) のほか、(②) や周辺環境を診る (③) アセスメント、①のみを診る (④) アセスメントの段階に分けられる。④アセスメントは療養者の主観的情報である問診と客観的情報である (⑤) が含まれる。在宅におけるアセスメントは、療養者の①や②、(⑥) 環境、(⑦) について情報収集し、⑥やライフスタイルへの影響などの視点から分析し、療養者が目指す⑥の質を支えるケアの内容を明確化するために行う。
- 2) 在宅におけるアセスメントで大切なのは、療養者や⑦の (⑧) に寄り添うことである。病院での治療や回復を目指す看護ではなく、⑥を中心とした看護を行うためには、広い視点でとらえる③アセスメントが重要である。さらに (⑨) との情報共有でアセスメントの精度を高めて、(⑩) で在宅ケアの質を高めることも大切である。

令和6年度 第3年次編入学入試問題（問題用紙）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

問題3

下記の1)～5)は在宅看護を展開する上で大切な理念や考え方です。これらについて、在宅看護における例を記述してください。

- 1) セルフケア
- 2) ノーマライゼーション
- 3) アドボガシー
- 4) エンパワメント
- 5) 国際生活機能分類

令和6年度 第3年次編入学入試問題（問題用紙）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：外国語（看護学専攻）

IV

問題1 次の文章はある英字新聞Web版の2023年5月16日の記事から抜粋したものです。この文章を読んで後述の1)から3)に解答してください。

引用箇所につき略

（出典：THE JAPAN TIMES

<https://www.japantimes.co.jp/news/2023/05/16/national/science-health/two-measles-cases-tokyo-japan/>
2023.6.20 確認）

注) measles：麻疹、infectious：感染力のある、immunity：免疫、vaccination：ワクチン接種、
inoculate：予防接種をする、refrain：控える

- 1) 東京の患者で麻疹の診断が確定する前に見られた症状として示されているもの全てを日本語で記述してください。
- 2) この記事の中に出てくる麻疹感染者は何名か日本語で記述してください。
- 3) 下線部分①②及び③を日本語に訳して記述してください。なお固有名詞はローマ字で記述しても結構です。

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (解答用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目 (看護学専攻)

I

問題1

1)	
2)	
3)	

問題2

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦			

問題3

血液透析	
腹膜透析	

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (解答用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目 (看護学専攻)

Ⅲ

問題1

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	
⑨		⑩	

問題2

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	
⑨		⑩	

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (解答用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目 (看護学専攻)

問題3

	在宅看護における例
1)	
2)	
3)	
4)	
5)	

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題 (解答用紙)

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：外国語 (看護学専攻)

IV

問題1

1)

2)

3)

①

②

③

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題（公表用解答例）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

I

問題1

1)	クッシング (Cushing) 現象
2)	除皮質硬直
3)	チェーン-ストークス (Cheyne-Stokes) 呼吸

カッコ内表記でも可。

問題2

①	侵害受容性	②	サイトカイン
③	神経障害性	④	体性痛
⑤	内臓痛	⑥	NRS または Numerical Rating Scale または 数値評価スケール
⑦	VAS または Visual Analogue Scale または 視覚的評価スケール		

⑥、⑦については解答に示した以外の和訳でも可。

問題3 出題意図 透析看護に関する基礎的な知識を問う問題

血液透析	
腹膜透析	

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題（公表用解答例）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

II

問題1

問題番号	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
回答欄	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○

問題2

番号	回答欄
①	粥状動脈硬化、白内障、骨粗鬆症、アルツハイマー病などから、いずれか1つ
②	流動
③	マラスムス
④	準備 あるいは 咀嚼
⑤	弛緩
⑥	直腸
⑦	ノンレム
⑧	椎体 あるいは 椎体部 あるいは 椎体骨折 あるいは 椎体部骨折
⑨	角化 あるいは ノルウエー

問題3 出題意図 高齢者に多い認知症の基礎知識を問う問題

① 疾患名【 アルツハイマー型認知症 】
② 原因（病態）
③ 特徴的な症状
① 疾患名【 レビー小体型認知症 】
② 原因（病態）
③ 特徴的な症状
① 疾患名【 前頭側頭型認知症 】
② 原因（病態）
③ 特徴的な症状

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題（公表用解答例）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：専門科目（看護学専攻）

Ⅲ

問題1

①	地域	②	生活
③	家族	④	健康
⑤	生きる	⑥	社会
⑦	環境	⑧	他職種
⑨	予防	⑩	地域包括ケアシステム

問題2

①	身体状況	②	心理状況
③	ヘルス	④	フィジカル
⑤	フィジカルイグザミネーション	⑥	生活
⑦	家族	⑧	希望（意向）
⑨	多職種	⑩	チーム

問題3 出題意図 在宅看護学における知識と看護に関する基礎的な力を問う問題

	在宅看護における例
1)	
2)	
3)	
4)	
5)	

受験番号：

令和6年度 第3年次編入学入試問題（公表用解答例）

令和5年8月22日実施
信州大学医学部保健学科

試験科目：外国語（看護学専攻）

IV 問題1

1)

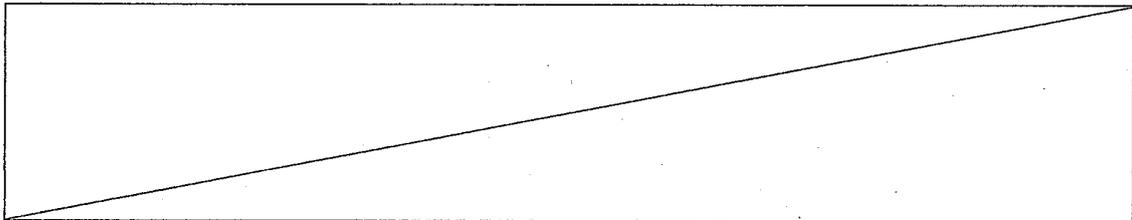
発熱と咳嗽（「発熱とせき」でも可）

2)

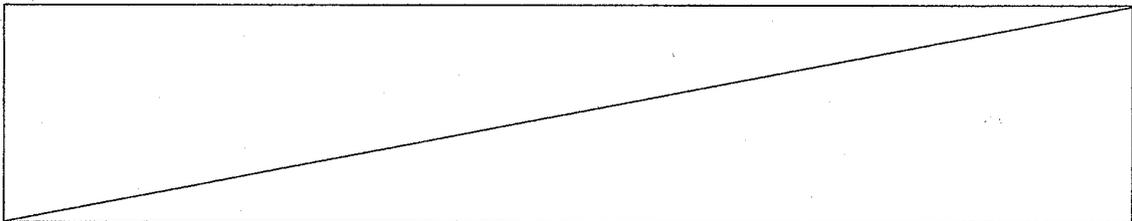
3名

3) 出題意図 論旨を踏まえた上で英文文章を正確に理解できているかを問う問題

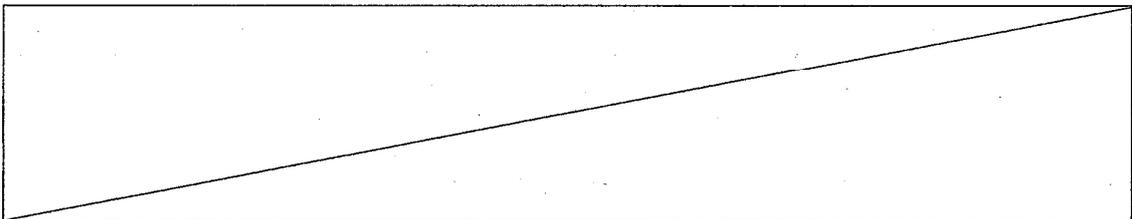
①



②



③



受験番号：